

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.42 Kくん (平成29年3月卒・航海専攻・現20歳) 遠洋かつお一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 当直（18時間おきに2時間、二人で見張り）をする。通常、舵は持たないが、風が悪い時は、船首を風上に向けるため舵を持つ。
- * 船が漂泊している時は、1時間交代で一人ずつ当直をする。
- * 水揚げ、魚越し（冷凍魚のシフト）の時に魚艙に入る。
- * 魚群がいる時は、一本釣りをする。

Q. 大変なことは？

- * 魚越し（たくさん釣れると早起きしなければならない）
- * 水揚げ（腰が痛くなる）
- * 餌い桶に餌イワシを運ぶ（新人の仕事）

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 大きい魚を釣った時は楽しい。
- * 船を漂泊して休みになったときは嬉しい。
- * キリバス人は陽気で楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 乗船実習で船酔いしたこと。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワークが役立っている。船で使っている結び方を教えてもらった時に、基礎が出来ているので応用が利き覚えやすい。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 海技士の免状（筆記だけでもよい。ただし四級）を持っている人は、将来の幹部として扱ってもらえるので、取っているほうが良い。

(平成30年2月20日)